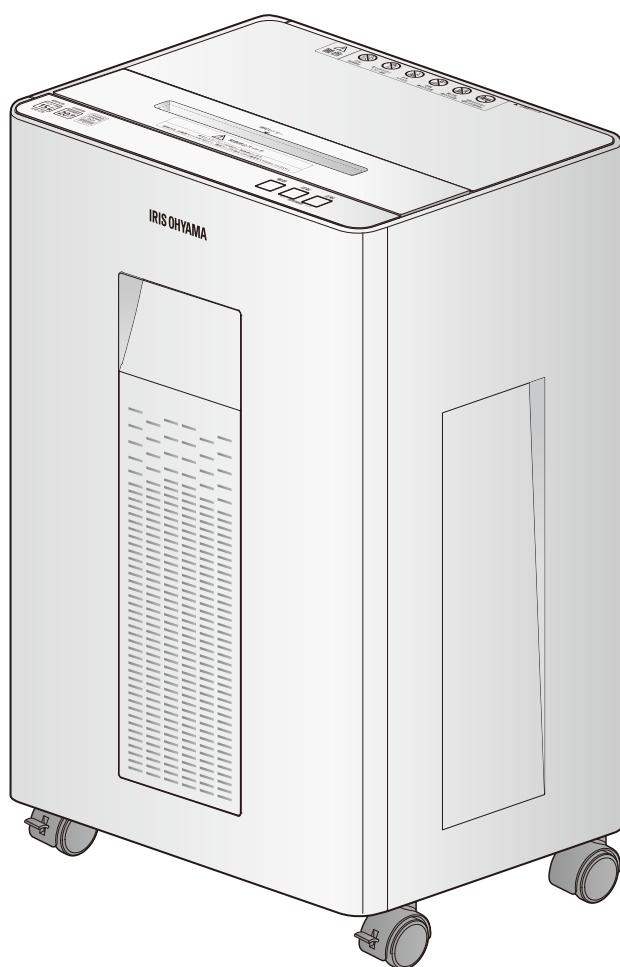


オフィスシュレッダー OF15M

取扱説明書(WEB)

オフィスシュレッダー

型番:OF15M



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「[安全上の注意 P6](#)」を必ずお読みください。
- WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルについて P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge ブラウザ(最新版)、Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

— 検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

ご使用の前に.....	6
安全上の注意.....	6
使用上の注意.....	9
確認と準備.....	10
各部の名称.....	10
操作パネル.....	12
キャスターの取り付けと設置.....	13
ごみ袋を取り付ける.....	14
ダストボックスを取り付ける.....	15
細断する.....	16
細断する.....	16
紙詰まりしたときは.....	21
細断くずを捨てる.....	22
細断くずを捨てる.....	22
お手入れ.....	24
お手入れの時期・方法.....	24
本体のお手入れと保管.....	25
カッター.....	26
センサー.....	27
こんなときは.....	28

こんなときは.....	28
-------------	----

別売品・消耗品について.....	30
-------------------------	-----------

別売品・消耗品について.....	30
------------------	----

その他の情報.....	31
--------------------	-----------

廃棄について.....	31
-------------	----

仕様.....	32
---------	----

保証とアフターサービス.....	33
------------------	----

お問い合わせ.....	34
-------------	----

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P6](#)

→ [注意 P8](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------

	警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
---	--

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	- 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・けがの原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	- 電源コードを束ねて通電しない 過熱して火災・やけどの原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 - 電源コードを傷付けない - 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 - 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コール P34 ( 電話をかける) へお問い合わせください。 - コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。

	・ 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。
 分解禁止	・ 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P34 (☎ 電話をかける) へお問い合わせください。
	・ スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) 引火して火災の原因になります。
	・ 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど)、火の気のあるもの(たばこ・線香など)、可燃性のもののそばで使わない 火災の原因になります。
	・ 子どもや取り扱いに不慣れな方に使わせたり、乳幼児に触れさせたりしない 感電・やけど・けが・重大事故の原因になります。
	・ 不安定な場所に置かない 転倒・落下して、けが・物品の破損の原因になります。 ・ 上に乗ったり、物を置いたりしない けが・物品の破損の原因になります。
	・ 投入口や排出口に物や手を入れない 細断部に引き込まれるおそれがあります。
	・ 髪の毛を投入口に近づけない 細断部に引き込まれるおそれがあります。
	・ 衣類の裾やネクタイなどを投入口に近づけない ・ ネックレスなどのアクセサリーを投入口に近づけない 細断部に引き込まれるおそれがあります。
 プラグを抜く	・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕

	- 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 運転中、時々電源が切れる - 触れるとピリピリ電気を感じる ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P34(☎ 電話をかける) へお問い合わせください。
 水ぬれ禁止	・ 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない ・ 本体を水につけたり、水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

 プラグを抜く	・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電の原因になります。
	・ シュレッダー以外の用途に使用しない 異常動作・火災の原因になります。 ・ 布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない ・ ほこり、粉じんの多い場所では使用しない 過熱して火災の原因になります。
	・ 移動するときはダストボックスが外れて落下しないように注意する けがの原因になります。

使用上の注意

- ・ 最大細断枚数・定格細断枚数・定格時間内で使用してください。
 - 一度に細断できる枚数(最大細断枚数)は A4 コピー用紙 15 枚以内です。
 - 連続で細断できる枚数(定格細断枚数)は A4 コピー用紙 12 枚以内です。
 - 本製品の定格時間は 20 分です。それ以上の連続使用はしないでください。また、連続使用後は必ず 1 時間以上休止してください。
- ・ 次のようなことはしないでください。
 - 本機以外のダストボックスやくず入れを組み合わせで使用
 - 必要以上に逆転させる故障の原因になります。
- ・ クリップ・ピン・ステープラの針などつけたまま細断しないでください。
- ・ 次のような物はいれしないでください。
 - フィルム・OHP シート・ポリ袋・その他のビニール類など
 - CD・DVD・その他のディスクや磁気カード・IC カードなど
 - 送り状・封筒・ふせん・その他の粘着テープやシール類など
 - カーボン紙・感熱紙・タック紙・新聞紙・雑誌類など
 - 複数に折った紙・リングで綴じられている紙・湿った紙・ラミネートされた物など故障の原因になります。
- ・ 細断の途中で止まったまま放置しないでください。
故障の原因になります。
- ・ 細断くずは、ダストボックスいっぱいまでためないでください。
性能の低下や故障の原因になります。
- ・ 使用中、本体が温かくなりますが、異常ではありません。すぐに使用しない場合は、主電源スイッチも切ってください。
- ・ キャスターで段差を乗り越えないでください。
キャスターの破損の原因になります。段差のあるところでは、必ず持ち上げて移動してください。
- ・ 台所など、湿気や油煙の多い場所では使用しないでください。
長期間そのような場所で使用すると、ほこりが内部に付着して、取りきれないことがあります。
- ・ 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、誤動作したりする場合があります。
- ・ ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- ・ 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

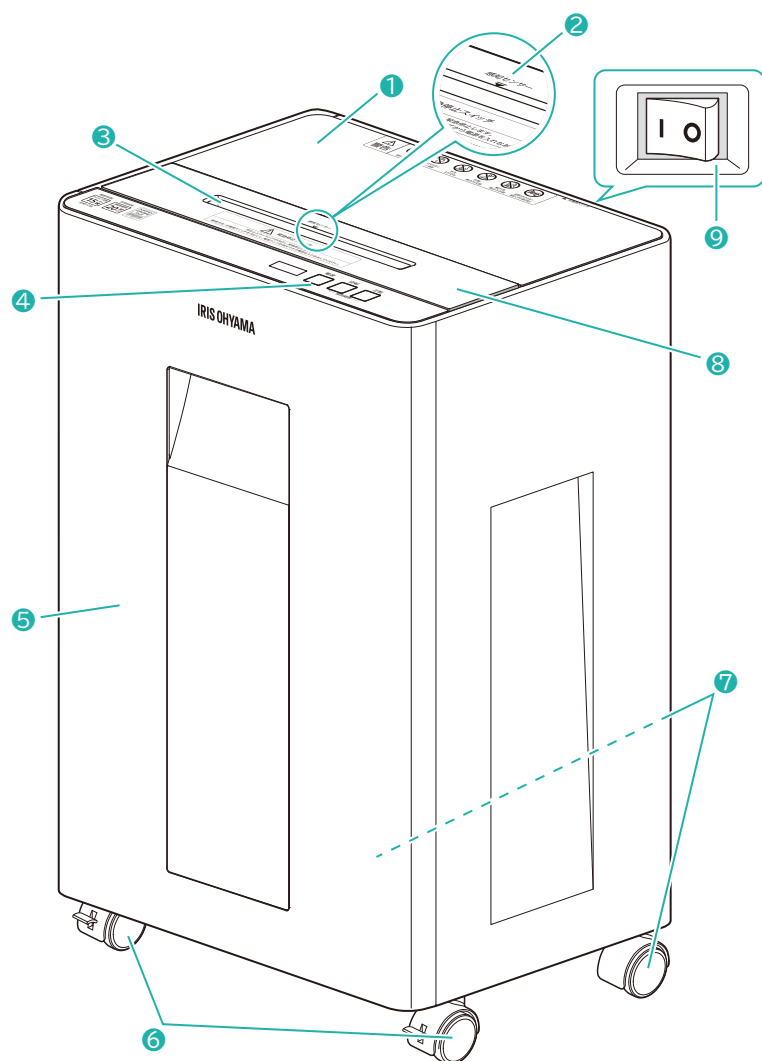
モーターの保護装置について

- ・ 過負荷をかけた長時間使用などにより、モーターに負荷がかかって異常に温度が上昇すると、細断を中断します。
保護装置が働いたときは、主電源スイッチを切にして電源プラグを抜き、モーターの温度が下がるまで 1 時間以上待ってから使用してください。

- ・ 本製品は出荷前に細断テストを行っています。細断テスト後は細断くずの除去を行っていますが、カッター刃などに付着した細断くずが輸送中に落下し、ダストボックスや本体に残っている場合があります。あらかじめご了承ください。

確認と準備

各部の名称



① 本体

② 感知センサー

③ 紙投入口

不要書類を投入します。

④ 操作パネル

⑤ ダストボックス

⑥ ロック付きキャスター(前側 2 か所)

⑦ ロックなしキャスター(後側 2 か所)

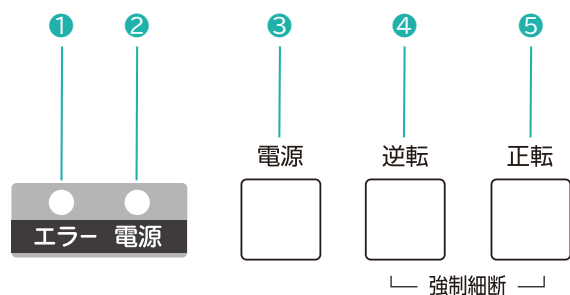
⑧ 緊急停止スイッチ

⑨ 主電源スイッチ

関連ページ

- [操作パネル P12](#)

操作パネル



① エラーランプ

緊急停止スイッチを押したときに、赤色に点灯します。

② 電源ランプ

電源がオンの時に緑色に点灯し、オフの時に消灯します。

③ 電源ボタン

押すと電源がオンになり、細断可能状態になります。もう一度押すとオフになります。

④ 逆転ボタン

1 秒以上長押しすると、カッターが逆回転します。

⑤ 正転ボタン

1 秒以上長押しすると、カッターが回転します。

※紙が詰まって細断が停止した際に  と  を同時に押すと、正転と逆転を自動的に繰り返して(最大 10 回)、中に詰まった紙が強制的に細断されます。

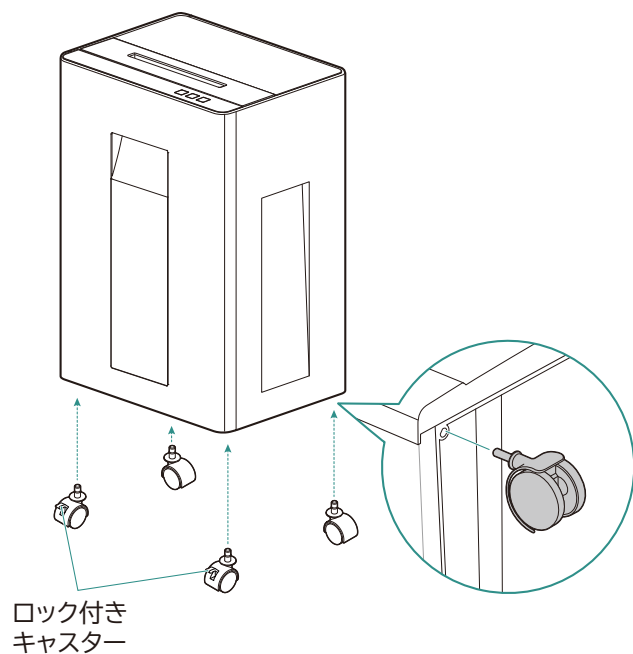
関連ページ

- ・ [各部の名称 P10](#)

キャスターの取り付けと設置

—キャスターを取り付ける

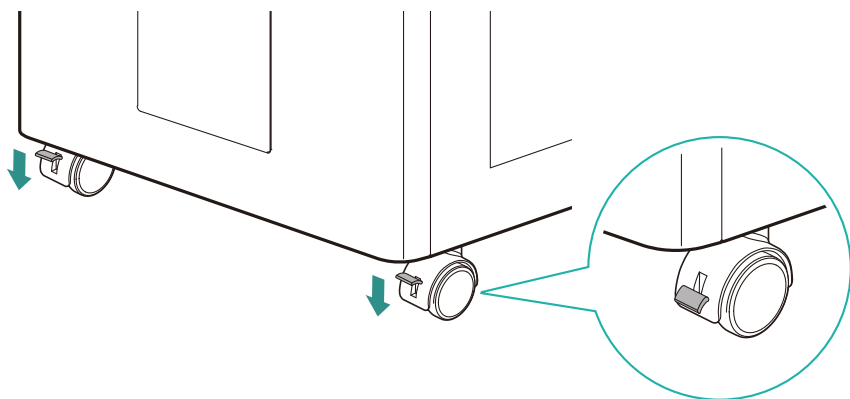
- 付属のキャスターを本体底面の取り付け穴にしっかり差し込んでください。
- 前側 2 か所には、ロック付きキャスターを取り付けてください。



- キャスターは一度差し込むと取り外しできません。位置をまちがえないように注意してください。
- キャスターの取り付けは、電源コードを差し込む前に、本体を横にするなどして取り付けてください。
- 本体を横にする際は、指などを挟まないように注意してください。

—水平で安定した場所に設置する

- 設置場所が決まったら、動かないようにロックをかけてください。



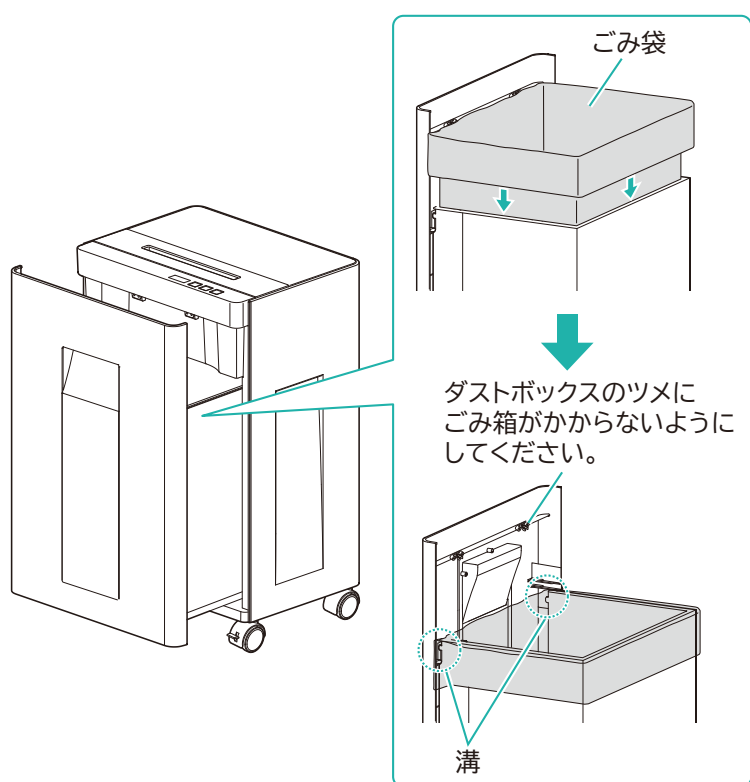
ごみ袋を取り付ける

ごみ袋はダストボックスの溝に取り付けてください。

—ダストボックスを引き出して、ごみ袋を取り付ける

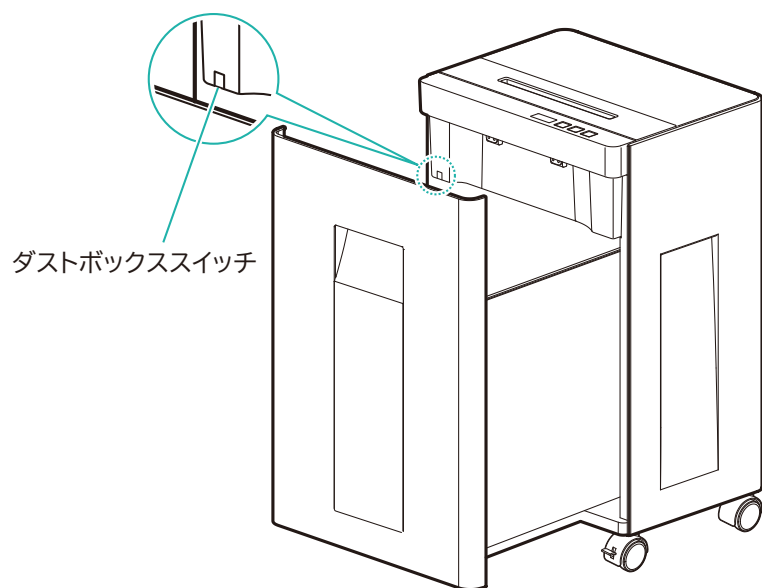
- ごみ袋の開口部を外側に折り返し、ダストボックスの縁にかぶせてください。
角の部分だけでなく、全周折り返します。
※ごみ箱がダストボックススイッチのツメにかからないようにかぶせてください。
※ごみ袋を取り付けずに使用することもできます。

ごみ袋サイズ(推奨)
45L(650×800mm)



- ごみ袋はダストボックスの内側に広げてください。

ダストボックスを取り付ける



- ・ ダストボックスを正しくセットしないと、ダストボックススイッチが入らず、細断できません。

細断する

細断する

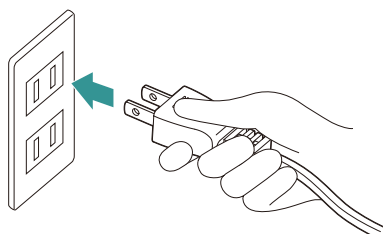
→ [緊急停止するには P19](#)

→ [オートクリーニング機能について P20](#)

→ [オートリバース機能について P20](#)

電源プラグをコンセントに差し込む

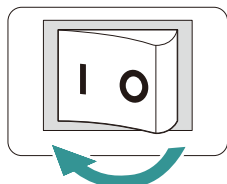
1



主電源スイッチを入れる

- ・ 本体背面の主電源スイッチを入れてください。

2



電源



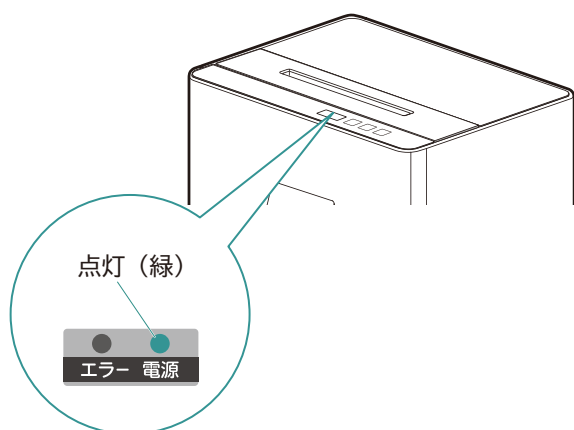
を押す

3

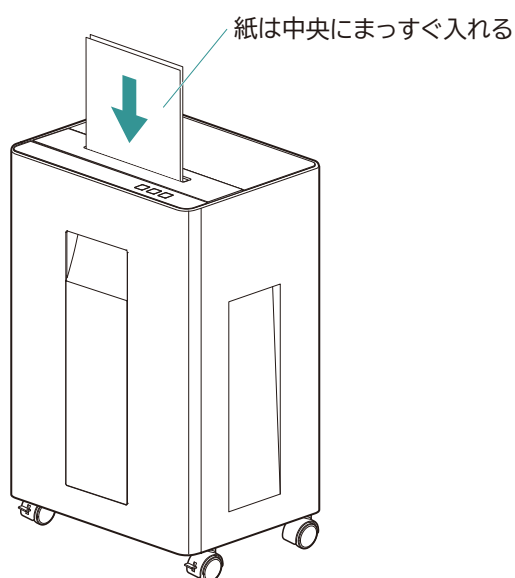
電源



- ・ 本体天面の電源ランプ(緑)が点灯して、細断可能な状態になります。



細断する



- 紙は中央にまっすぐ入れてください。(自動的にカッターが回転して細断が始まり、細断が終了すると自動的に停止します)

電源

- 使い終わったら  を押してください。
すぐに使用しない場合は、主電源スイッチも切ってください。
- 使用中、本体が温かくなりますが、異常ではありません。

一度に細断できる最大枚数
(最大細断枚数)

A4 コピー用紙(64g/m²) 15 枚以内

連続して細断できる枚数
(定格細断枚数)

A4 コピー用紙(64g/m²) 12 枚以内

- 紙の細断能力は、紙質、湿度などにより変わります。
- 紙を斜めに投入すると、紙詰まりなどのトラブルの原因になります。必ずまっすぐに投入するように注意してください。
- 連続投入を避け、確実に細断しきってから次の紙を投入してください。
- 投入口中央の感知センサーを通らないと、細断は始まりません。

- ・ 本製品の定格時間は 20 分です。それ以上の連続使用はしないでください。また、連続使用後は必ず 1 時間以上休止してください。

操作ボタンを押しても動かないときは、過熱防止機能が働いています。

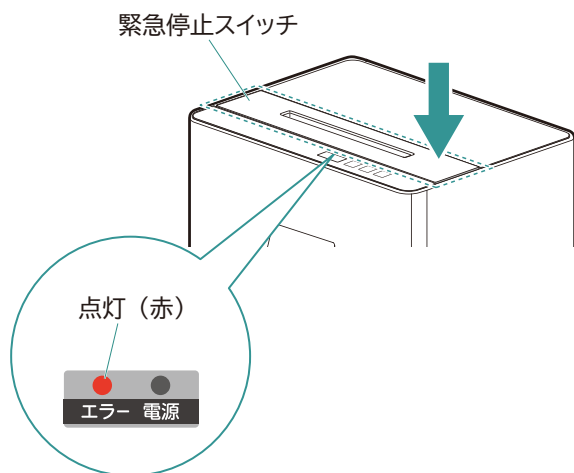
過熱防止機能が働いた場合は、主電源スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。モーターの温度が下がるまで、1 時間以上お待ちください。

※それでも運転しない場合は、[アイリスコール P34](#) (☎ [電話をかける](#)) までお問い合わせください。

—緊急停止するには

緊急停止スイッチを押します。

- 緊急停止中はエラーランプ(赤)が点灯し、逆転機能のみ使用可能です。
- 復帰するには、主電源スイッチを切って、エラーランプが消灯した後に主電源スイッチを入にして電源を入れてください。



—オートクリーニング機能について

細断中は、5回に1回、自動で清掃運転(逆転5秒、正転 5 秒)し、カッターの汚れを落とします。

—オートリバース機能について

一度に多量の紙を入れたり、斜めに紙を入れると、過負荷を検知して自動的にカッターが逆転して停止します。そのようなときは紙の枚数を減らして投入し直してください。

関連ページ

- [紙詰まりしたときは P21](#)
- [細断くずを捨てる P22](#)

紙詰まりしたときは

紙が詰まって細断が停止したら、以下のいずれかの方法で詰まった紙を取り除いてください。

— 逆転

紙が詰まって細断が停止したら、を押して、詰まった紙を引き抜く

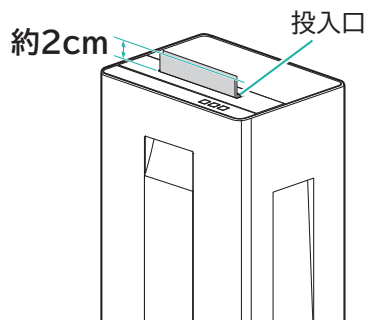
- 正転
- 紙を引き抜いたら  を押して細断くずを排出してください。

— 強制細断

正転と逆転を自動的に繰り返して(最大 10 回)、中に詰まった紙を強制的に細断します。

正転  と 逆転  を同時に押す

- オートリバース機能が働いた時は、必ず投入口から紙を引き抜いてください。
- 紙が引き抜けない場合は、投入口から出ている紙をはさみで切るなどして、高さを約 2cm 以下にしてから、強制細断してください。



- 一度の強制細断で細断しきれなかった場合は、再度強制細断を行ってください。続けて強制細断を行った場合、過熱防止機能が働くことがあります。
- 紙詰まりしていないときに強制細断を使うことはできません。

関連ページ

- [細断する P16](#)
- [緊急停止するには P19](#)

細断くずを捨てる

細断くずを捨てる



注意

- ・必ず主電源スイッチを切って、電源コードを抜いてから行ってください。

ダストボックスがいっぱいになる前に、細断くずを捨ててください。

— 細断くずがたまったら

1

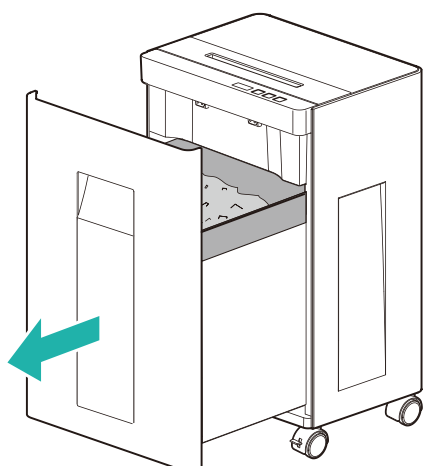
電源



を押した後、主電源スイッチも切り、電源プラグを抜く

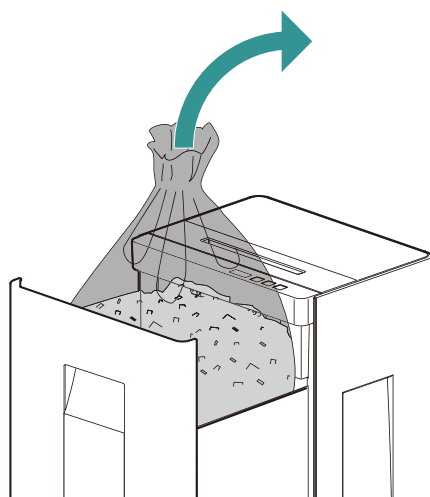
2

ダストボックスを引き出す



ダストボックス内の細断くずを捨てる

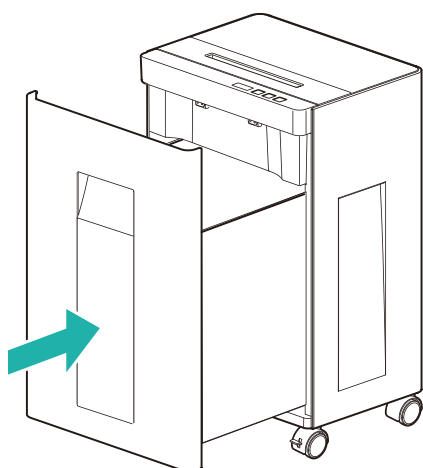
3



- ごみ捨ては、ダストボックスの 8 分目程度で、こまめに行ってください。

ダストボックスを本体に正しくセットする

4



- ダストボックスを正しくセットしないと、ダストボックススイッチが入らず、細断できません。
- 内部に細断くずなどが飛び散っているときは、掃除機などで吸い取ってください。

お手入れ

お手入れの時期・方法

お手入れ時期	お手入れ箇所	お手入れ方法
1 か月に 1 回程度	本体 P25	汚れの拭き取り
	カッター P26	お手入れシート、潤滑油
	センサー P27	汚れの拭き取り

各お手入れの説明については、上記のリンクをクリックしてください。



注意

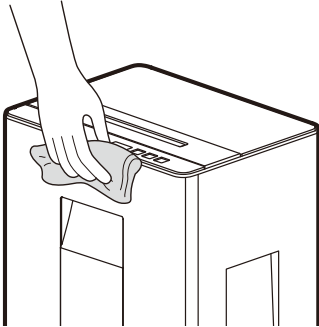
- ・ カッター以外のお手入れは、必ず主電源スイッチを切って、電源コードを抜いてから行ってください。
- ・ 酸性・アルカリ性の強い洗剤や薬品、漂白剤、みがき粉、金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りのスポンジ、スプレー（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）は使用しないでください。
破損や故障の原因になります。

本体のお手入れと保管

— 本体

柔らかい布でから拭きしてください。

- ・ 内部に細断くずなどが飛び散っているときは、掃除機などで吸い取ってください。
- ・ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、洗剤が残らないように、固くしぼった布などで拭き取ってください。



— 保管

長期間使用しないときは、ポリ袋などがかぶせて、湿気の少ない場所で保管してください。

関連ページ

- ・ [お手入れの時期・方法 P24](#)
- ・ [カッター P26](#)
- ・ [センサー P27](#)

カッター

—アイリスオーヤマ製シュレッダー用簡単お手入れシート SMS06 (別売)を使用する場合

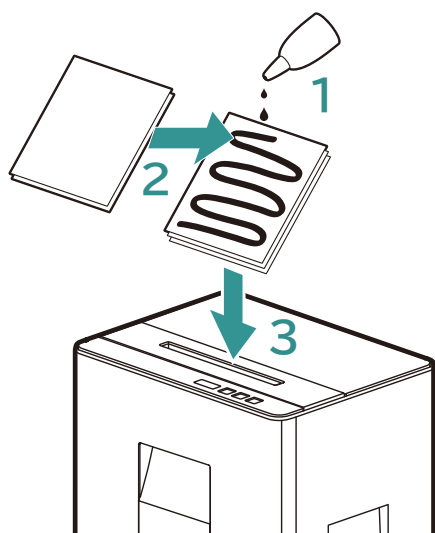
アイリスオーヤマ製シュレッダー用簡単お手入れシートを細断してください。

細断すると、潤滑油が行き渡り、動作を滑らかにします。

購入はこちら

<https://www.irisplaza.co.jp/index.php?KB=SHOSAI&SID=H530660>

—コピー用紙を使用する場合



- 1 コピー用紙を 3～4 枚重ね、1 番上の用紙にミシン油を塗る
- 2 ミシン油を塗ったコピー用紙の上に、さらにコピー用紙を 1～2 枚重ねる
- 3 細断する

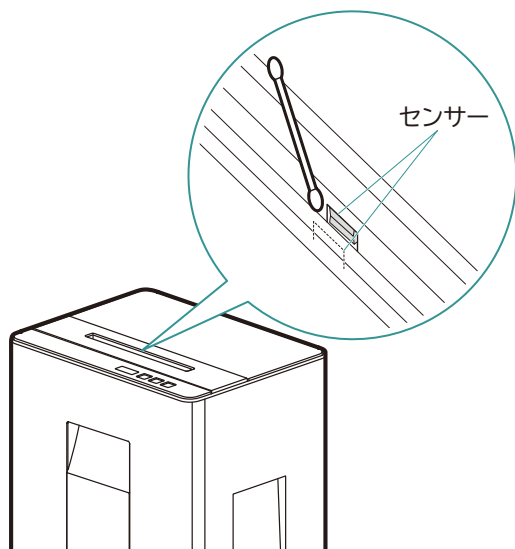
関連ページ

- [お手入れの時期・方法 P24](#)
- [本体のお手入れと保管 P25](#)
- [センサー P27](#)

センサー

本機の感知センサーは光学式です。細断したときに出る紙粉などが付着すると誤動作の原因になります。
定期的にお手入れしてください。

- ・ 綿棒などで、投入口中央にある感知センサー(両側)の汚れを拭き取ってください。
- ・ 感知センサーは発光部と受光部に分かれています。必ず両側を拭いてください。



関連ページ

- ・ [お手入れの時期・方法 P24](#)
- ・ [本体のお手入れと保管 P25](#)
- ・ [カッター P26](#)

こんなときは

こんなときは

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

— 細断しない(電源ランプが消灯)

→電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→主電源スイッチが切(○)になっていませんか？

本体背面の主電源スイッチを入(Ⅰ)にしてください。

— 細断しない(電源ランプが点灯)

→紙詰まりを起こしていませんか？

逆転または強制細断を使用して、詰まった紙を取り除き、適当な枚数で使用してください。(→[紙詰まりしたときは P21](#))

→クリップなどの金属物や異物がカッターにかみこんでいませんか？

詰まった物を取り除いてください。

→オートリバースが動作しています

紙が詰まっている場合は、逆転または強制細断を使用して、詰まった紙を取り除き、適当な枚数で使用してください。(→[紙詰まりしたときは P21](#))

→過熱防止機能がはたらいて停止しています

主電源スイッチを切(○)にし、1 時間以上放置して、細断機構が冷めてから使用してください。(→[細断する P16](#))

→投入物が感知センサーを通過していません

投入物は投入口の中央を通過するようにまっすぐ入れてください。

→半透明の紙(トレーシングペーパーなど)を投入していませんか？

紙を折りたたんで投入するか、不透明の紙と重ねて投入してください。

—電源ランプがつかない、細断しない

→ダストボックスが閉まっていますか？

ダストボックスを確実に閉めてください。

—細断が終了しても停止しない

→感知センサーに紙粉やほこりが付いていませんか？

感知センサーをお手入れしてください。(→[センサー P27](#))

→オートクリーニング機能がはたらいています

清掃運転(逆転 5 秒、正転 5 秒)が終わると停止します。

—本体が動く

→キャスターがロックされていますか？

水平で安定した場所に設置し、前側のキャスターをロックしてください。(→[キャスターの取り付けと設置 P13](#))

—ひんぱんにエラーランプが点灯する

→カッターが汚れていませんか？

カッターをお手入れしてください。(→[カッター P26](#))

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P34](#)(☎ [電話をかける](#)) へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ P34](#)

別売品・消耗品について

別売品・消耗品について

別売品・消耗部品についてはお買い上げの販売店または[アイリスプラザ](#)でお買い求めください。

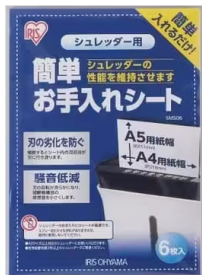
アイリスプラザのサイトでは、「キーワードで検索」に型番を入力して検索してください。

全ての商品 ▼	キーワードで検索	🔍
---------	----------	---

ご注意ください 【悪質な偽装サイトにご注意ください】

[シュレッダー 簡単お手入れシート](#)

[SMS06](#)



その他の情報

廃棄について

- ・ 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

外形寸法(スイッチ、電源コード含まず)		幅 380×奥行 290× 高さ 604mm
製品重量 (電源コードを含む)		約 18.4kg
ダストボックス容量		30L
電源コード長さ		約 1.6m
定格電源		AC100V、50/60Hz
定格消費電力	50Hz	363W
	60Hz	411W
待機電力		1.5W
投入幅		218mm(紙投入口)
細断サイズ		約 2mm×約 15mm(マイクロクロスカット)
細断速度	50Hz	約 2.3 m/分
	60Hz	約 2.7 m/分
定格時間		20 分
定格細断枚数		A4 コピー用紙 (上質紙 64g/㎡)12 枚
最大細断枚数		A4 コピー用紙 (上質紙 64g/㎡)15 枚

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P34](#) (☎ [電話をかける](#)) にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P34](#) (☎ [電話をかける](#)) にお問い合わせください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>